

株式会社アスモ

(岡山珈琲館PLUS/大野辻店/岡山南店)

岡山県岡山市/飲食サービス業

従業員数
100名

設備単位プラン
15,840円
(5,280円×3事業所)

事業概要

株式会社アスモは1988年創業で、30年以上岡山の地で喫茶店を営み、現在5店舗を運営しております。本事業では、うち3店舗の空調設備において省エネ診断を受診し、運用改善9件、投資改善1件の提案を受けました。



省エネ効果

エネルギー削減量
(原油換算値)

5.7 kl/年

費用削減額

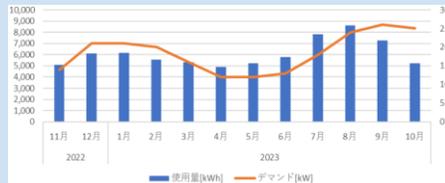
100.1 万円/年

※ 端数処理を切り捨てて行っているため、合計値と内訳の合計が不一致となる場合があります。

登録診断機関からのコメント

一般的に飲食店の電力消費のうち、38.7%を空調が占めており、照明21.0%、冷凍冷蔵庫が14.0%とされています。

夏場(7~8月)の電気使用量が最も高いため、空調の運用改善、投資改善をすることで、電気代削減に繋がります。



参考：岡山南店の電力使用状況

事業者様の声

空調設備のみの診断でしたが、多くの運用改善を提案いただきました。診断報告会の後、まずは室外機に巻いていたツタの除去と、フィルターの清掃を実施しました。空調の設定温度は「強」で運用していましたが、今回の受診で適正な設定温度に見直す良いきっかけとなりました。

空調設備

提案① 室外機の遮熱対策

運用改善

投資改善

エアコンは室内機に内蔵された「熱交換器」で部屋の空気から熱を取り除いて、冷えた空気を吐き出すことで、部屋全体を冷やすことが出来ます。室外機の周りの温度が高いと、室外機から熱を排出しにくくなるので、多くの電力を消費してしまいます。室外機の上に散水機が付いていたため、1日2回(朝と暑い時間帯)にフィンへ散水することで約10%の消費電力の削減になるとわれています。



0.9 kl/年



16.6 万円/年



提案② フィルター、室外機フィンの清掃

運用改善

投資改善

一部空調機のフィルターに埃が付着しています。フィルターが目詰まりしていると効率が下がり、その分無駄な電気代がかかってしまいます。メーカーにおいては2週間に1度の清掃を推奨されていますが、最低でも使用頻度が高くなる夏・冬前には清掃を行いましょう。冷房時で約4%、暖房時で約6%の消費電力の削減になります。(機器ごと)



2.0 kl/年



33.6 万円/年



提案③ 高効率空調機への更新

運用改善

投資改善

飲食業の、全体の電気使用量に対する空調割合は38.7%とされています。現在使用されている空調を高効率空調へ更新することで、消費電力[kW]ベースで2%を削減することが可能です。インバータータイプが主流のため、消費電力量[kWh]ベースでは15~25%程度の削減が期待できます。



1.9 kl/年



33.3 万円/年



その他の提案

運用改善

投資改善



0.9 kl/年



16.6 万円/年

- ・デマンドの設定値の見直し
- ・設定温度の変更
- ・風量の適正化

空調

照明

ボイラ給湯

受変電

コンプレッサ

デマンド

冷凍冷蔵

生産設備

工業炉

給排水